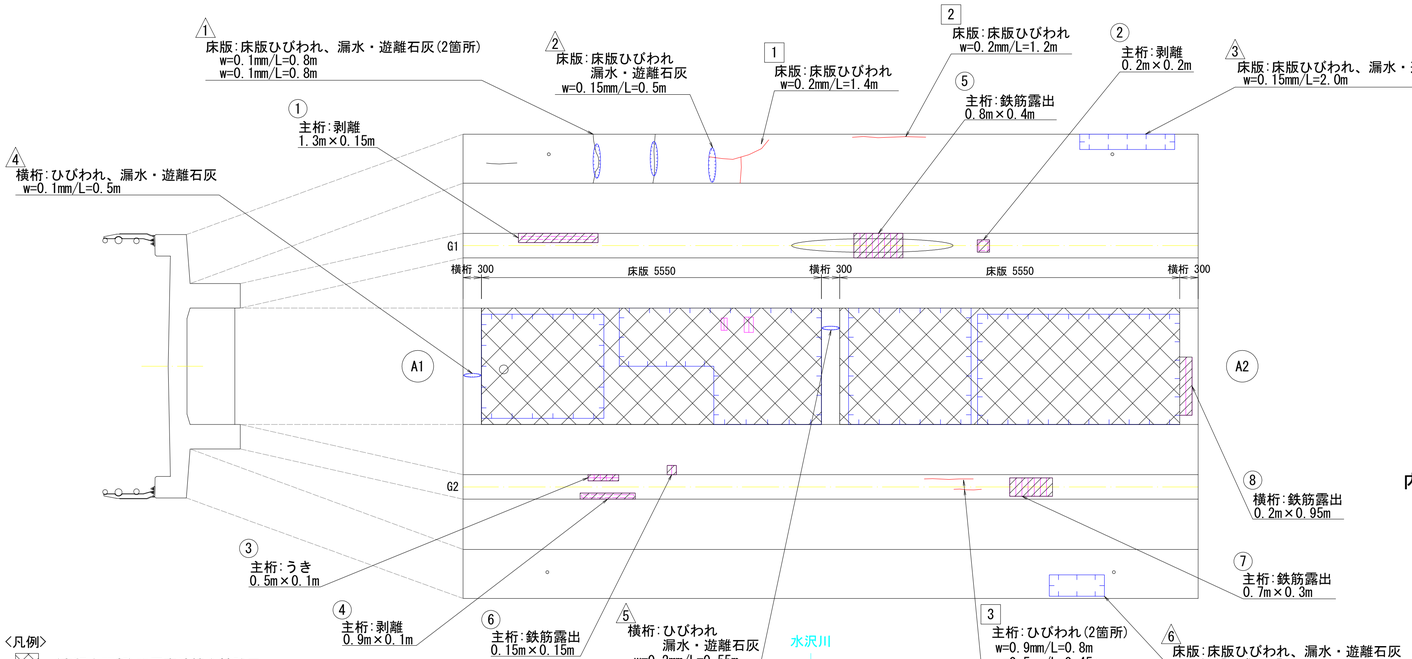
上部工補修工図

凡　例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	0.2mm以下	ひびわれ	0.2mm以上	うき	
剥離		漏水		遊離石灰	
鉄筋露出		その他			

平面図

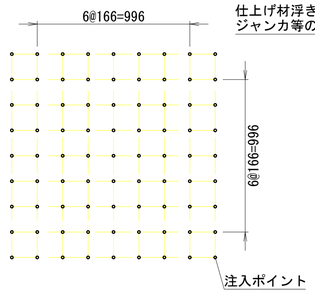
S = 1 : 50



<凡例>
：(床版中間部)内圧充填接合補強工

内圧充填接合補強工

注入配置図(36箇所/m2)

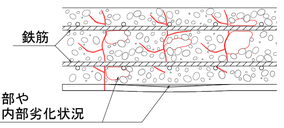


仕上げ材浮き部や
ジャンカ等の内部劣化状況

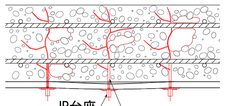
内圧充填接合補強工　数量表

	補修面積 (m2)	注入ポイント (本)	備考
A1側 床版	10.545	380	36本/m2
A2側 床版	10.545	380	36本/m2
合計	21.090	760	-

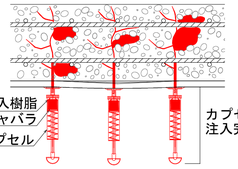
1. 下地サンディング・マーキング



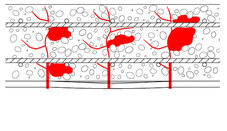
2. 穿孔・JP台座取付・樹脂漏れ防止



3. 樹脂注入



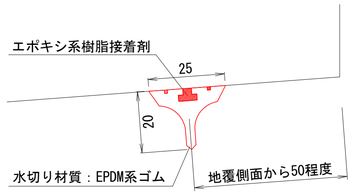
4. IPHカプセル及びJP台座撤去・清掃



水切り詳細図

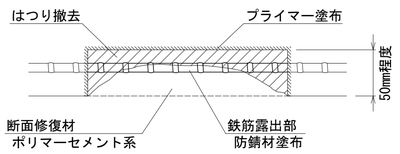
S = 1 : 1

N = 2箇所

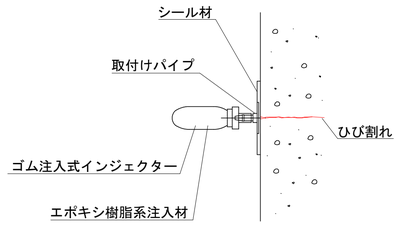


水切り設置延長
桁長12.0m × 2箇所 = 24.0m

断面修復工

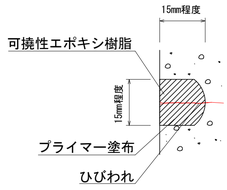


ひび割れ注入工

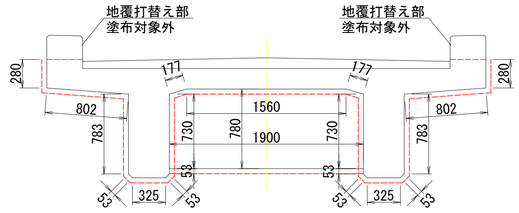


ひびわれ充填工

※ひびわれ幅1.0mm以上
　または
遊離石灰を伴うひびわれ箇所に適用



表面含侵材塗布工



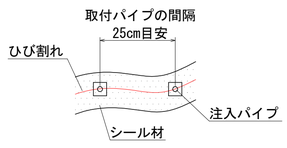
断面修復工（鉄筋露出無）数量表

番号	損傷箇所	延長(m)	幅(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
①	G1主桁	1.30	0.15	0.05	0.195	0.010
②	G1主桁	0.20	0.20	0.05	0.040	0.002
③	G2主桁	0.50	0.10	0.05	0.050	0.003
④	G2主桁	0.90	0.10	0.05	0.090	0.005
				合計	0.375	0.020

断面修復工（鉄筋露出有）数量表

番号	損傷箇所	延長(m)	幅(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
⑤	G1主桁	0.80	0.40	0.05	0.320	0.016
⑥	G2主桁	0.15	0.15	0.05	0.023	0.001
⑦	G2主桁	0.70	0.30	0.05	0.210	0.011
⑧	横桁	0.20	0.95	0.05	0.190	0.010
				合計	0.743	0.038

脆弱部はつり撤去
→ はつり面の清掃
→ 鉄筋露出有の場合のみ：鉄筋の錆落し、清掃 → 鉄筋露出部防錆材塗布
→ プライマー塗布
→ 断面修復材充填(左官)
→ 養生



ひび割れ注入工数量表

番号	損傷箇所	幅(mm)	延長(m)
1	床版上流側	0.20	1.40
2	床版上流側	0.20	1.20
3	床版下流側	0.90	0.80
	床版下流側	0.50	0.45
		合計	3.85

ひび割れ部の清掃
→ 取付パイプの設置
→ シール材の設置
→ 注入実施
→ 注入量確認
→ 取付パイプ撤去
→ シール材撤去

ひび割れ充填工数量表

番号	損傷箇所	幅(mm)	延長(m)
1	床版上流側	0.10	0.80
	床版上流側	0.10	0.80
2	床版上流側	0.15	0.50
3	床版上流側	0.15	2.00
4	横桁	0.10	0.50
5	横桁	0.20	0.55
6	床版下流側	0.15	1.50
		合計	6.65

ひびわれ部Uカット
→ 充填部清掃
→ プライマー塗布
→ 充填実施
→ 仕上げ
→ 養生
→ 表面含侵材塗布工

高分子系浸透性防水材 基本物性値

項目	試験規格	試験結果
中性化深さ	JIS A 1153	0.5 mm
塩化物イオン浸透性深さ	JSCE K 524	0.0 mm
透水性	JSCE K 523	0.0 g
透湿性	JSCE K 522	55.9 g/m2・day

下地処理
→ 含侵材塗布（1回目）
→ 含侵材塗布（2回目）

表面含侵材塗布工 数量表

	塗布面積(m2)
床版	47.22
主桁	46.62
横桁	7.11
合計	100.95

注記
・図面上の寸法は既存資料及び現地計測結果から作図したものである。
・施工にあたっては現地再計測のうえ、施工箇所及び範囲の確認を行うこと。

令和８年度		工事番号	
路線名 河川名	林道下高野線		
箇所名	仙北市田沢湖生保内字下高野地内		
工事名	下高野線第1号橋橋梁補修工事		
上部工補修工図		縮尺	図示
照査		設計		図面番号	7/16
仙北市			